

なかなかいいら？

# 富士市の方言



いつもは会えない人に会ったり、オンライン上で会話を楽しんだりする年末年始。会話の中で、初めて「これって方言？」と感じる場面もあるかもしれません。富士市の方言をいくつ知っているか、まずは皆さんでチェックしてみませんか？

しら？ (しら？)

意味：しら？ (しら？)

しじゃんね

意味：しじゃんね

しだもんで

意味：しだから

うちうち

意味：私たち、私たちの家

えかん

意味：だいぶ

したべら

意味：舌

かじる

意味：かく

たごる

意味：さぼる



蚊にくわゆる

意味：蚊に刺される

うみゃ

意味：おいしい

やまにゃ

意味：大したことない

とびつ

意味：徒競走

こば

意味：端、端っこ

ののの

意味：食べ物が飲み込みにくい

いかい

意味：大きい

ちつらつ

意味：少しずつ



みるい

意味：柔らかい、初々しい

やんぱん

意味：めちゃくちゃ

へんて

意味：苦労して、一生懸命に

おこ

意味：お漬物

20個中あなたが知っているのは

個

16~20個

ばかすごい!富士市民

11~15個

え~かん!富士市民

6~10個

ちょっとだけ富士市民

0~5個

まだみるい富士市民

★ここに掲載されていない方言も探してみよう!

※今回紹介したものは、あくまで一部であり、諸説あります。

# 富士市の方言は多種多様

同じ富士市に住んでいても、人によって使う言葉は様々。実は、「方言」でも非常に狭い範囲で使われているものや、ほかの地域から入ってきたもの・ほかの地域でも使われているもの、時代を反映するものなど多種多様です。

静岡市の高校に在籍していたとき、同じ県内なのに方言がかなり違っていて、驚いたことを覚えています。当時「うちうち」という方言をからかわれてしまいました。が、今でも愛着のある方言ですね。「ばかすごい（とてもすごい）」という方言は、今でもよく使います。

ふだんは方言を意識しないので実感しにくいですが、ほかの地域に出てみると、言葉の違いに気づきますね。



渡邊 寛大さん（神戸地区）

浜通り（しらす街道周辺）では、漁師の仲間内で使われてきた言葉が方言に残っています。「ずら」「だら」「じゃん」などの濁る言葉を文末に付けますし、「さあ」という言葉を単語の後に入れます。

子どもの頃に漁の手伝いをしてると、「しよろしよろ（のろまにするじゃねえ）」と父に怒られたものです。自分では気づきませんが、「田子弁が出るよ」と今でも声をかけられますね。



吉野 早苗さん（田子浦地区）

# 方言はこんなところにも



**富士山かぐや姫ミュージアム**  
富士に伝わるかぐや姫物語や、郷土の歴史に関する常設展示のほか、少し前の暮らしや方言などを紹介する「思い出の小部屋」もあり、世代を越えて楽しめます。数か月ごとに替わる企画展示も魅力です。



**ふじさんてらすMierula**  
市役所屋上にある「ふじさんてらすミエルラ」。名前の由来は、「見えるら？（見えるでしょ?）」という方言です。  
一般開放／平日及び日曜開庁日  
9:00～16:00



**さもにゃん**  
富士市公式Instagramイメージキャラクターの「さもにゃん」。名前の由来は、「さもにゃ〜（大したことはない）」という方言です。  
富士市公式Instagram▲



## 私たちの中にある「富士市」

ふだんは当たり前すぎて、意識することは少ない「方言」。しかし、生まれ育ったまちを一步出たとき、その言葉は自分のふるさとを強く意識させるものでもあります。

これからの会話の中でほんの少し意識するだけで、自分の中の「富士市」に気づくかもしれません。富士市の方言って、なかなかいいら？